

会 議 録

1 会議名

令和2年度第10回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1)令和3年度の温浴・宿泊施設の減収補填の対応について

(2)令和3年度の牧区に関する事業について

(3)令和2年度「灯の回廊」の開催結果について

○協議事項（公開）

(1)令和3年度牧区地域協議会年間スケジュールについて

(2)自主的審議事項について

3 開催日時

令和3年3月23日（火）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、
折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、横尾グループ長、丸山班長、横田
主任（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：池田委員に依頼。
- ・本日の報告事項3件について、事務局に説明を求める。

【山岸所長】

- ・(1)令和3年度の温浴・宿泊施設の減収補填の対応について報告させてもらう。牧湯の里深山荘の指定管理指定については、1月の協議会で進捗状況を説明させてもらった。昨日の市議会において関係議案が議決されたことから、牧湯の里深山荘に係る指定管理者に指定する団体として、株式会社太平堂が指定を受けたことを報告する。指定期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間である。牧湯の里深山荘は、公の施設の適正配置計画において「引き続き協議」としており、今後の施設の在り方について地域の皆様と協議するため、暫定的に1年間としたものである。また、他の温浴・宿泊施設の現在の指定管理期間の終期が令和4年3月31日までとなっていることから終期を合わせた。指定管理料は、16,229千円である。前期間は、年間平均15,786千円であり、増額した443千円については、近年、宴会などの飲食利用が減少傾向にあり、指定管理者の事業収入が減少していることに加え、設備の老朽化等に伴い施設の維持管理経費も増加していることから、増額となったものである。次に、令和3年度指定管理者への対応についてであるが、今年度、市は協定に基づき、指定管理者が損失を最小限に抑制する取り組みを行うことを条件に減収分を補填してきた。コロナ禍からの回復が見通せない中、指定管理者への補填については慎重に検討する必要があることから、令和3年度については、営業方針等の見直しなど、経費削減や収入増加に向けた取り組みを徹底することにより、現行の指定管理料による運営を基本としながら最大限の合理化が図られても、なお現行の指定管理料での運営が困難な場合には、必要に応じて予算措置を行う予定としている。牧湯の里

深山荘においても、コロナ禍に対応する営業方針等の見直しについて、協議を重ねているところである。

続いて、(2)令和3年度の牧区に関する事業について報告させてもらう。

—資料1に基づき説明—

【丸山班長】

続いて、(3)令和2年度「灯の回廊」の開催結果について報告させてもらう。

—資料2に基づき説明—

【西山会長】

- ・今ほどの説明について、意見等があれば願います。

【清水委員】

- ・2点ほど質問させてもらう。1点目は、牧ふれあい体験農園の休止に伴う草刈り等の維持管理費は計上されているのか。2点目は、当該農園の休止について、地区懇談会では「地元で借地し、畑や花壇などを整備したらどうか」などの利活用に関する意見が出されていたが、その後の動きはどのようなものか。

【山岸所長】

- ・維持管理費については、資料9ページの11番に記載されている。都市・農村交流促進事業として、除草管理に伴う25千円の予算が計上されている。また、地区懇談会で出された休止後の利活用に関する意見を所管課である農村振興課へ伝えたところ、「農園を整備する際に活用した補助金との兼ね合いがあることから、即答はできない」との回答があった。現在、利活用の方法については検討中である。

【清水委員】

- ・もう1点質問させてもらう。「灯の回廊」の開催結果について、牧っこ茶屋の入込人数は雪上花火の人数が含まれているのか。

【山岸所長】

- ・含まれている。

【清水委員】

- ・含まれているとしたら、非常に人数が少ないように感じる。スタッフとして現地にいたが、花火だけでも500人を超える来場者があったと思う。

【山岸所長】

- ・確認したいと思う。

【西山会長】

- ・今年度は、株式会社太平堂に減収補填を行ったか。

【山岸所長】

- ・株式会社太平堂に対する減収補填は行った。今年度は、ほとんどの施設に減収補填を行っている。

【飯田副会長】

- ・市内では、複数の温浴・宿泊施設が休止となっている。牧区では株式会社太平堂が頑張ってくれているが、この先どうなるか分からない。市の減収補填だけでは難しいと思う。年々、中山間地の活気が失われているように感じる。要望になるが、案件を木田庁舎や板倉区総合事務所だけに任せるのではなく、地元である牧区総合事務所にも一緒になって取り組んでもらいたい。

【西山会長】

- ・先ほど、「多くの施設に減収補填を行った」との説明があった。株式会社太平堂には、具体的な金額までは不要だがどれ位の金額が補填されたのか。また、他の施設と比較した場合、どのような状況なのか。個人的な考えであり全員で協議する必要があると思うが、株式会社太平堂の頑張りに対し、地域協議会として市へ意見書を出したいと考えている。

【山岸所長】

- ・深山荘への補填額は、他の減収補填を行った施設よりも比較的少ない。

【西山会長】

- ・地域協議会として深山荘の頑張りをPRする内容で意見書を市へ提出したいと思うがどうか。意見書の内容については、私と事務局で協議し、作成したいと思う。

【佐藤委員】

- ・文書を提出することもそうだが、隣接する地域の施設が休止になるなど事態が動いている中で、深山荘がこのまま保たれて、これらが地元で生かされ賑やかになれば本当に嬉しいことだと思う。本日、身体障害者の会の理事会に出席した。本会では社会科見学を実施しており、都度50人から70人が参加して中越や下越に行っている。役員からは、「大勢での休憩や食事、お風呂に入ることができる施設は限られている」と

の意見があった。この他、エレベーターや車いすでも利用できるトイレも必要となる。去年は深山荘を予約したが、コロナ禍により全事業が中止となった。本日の会議では、社会科見学が実施できるようであれば深山荘を利用することに決定し、仮予約も行った。板倉区の「地すべり資料館」や清里区の「上越清里星のふるさと館」を見学した後、深山荘で休憩して帰る計画である。深山荘としても50人以上の利用は魅力的だと思う。身体障害者の方々から、「近場には食事ができてゆっくり休める施設が少ない」との意見もあった。人それぞれ、立場や事情があると思うが、深山荘の宣伝や知人などと一緒に利用することが大きな協力になると思う。文書を提出するしないについてはよくわからないが、地元住民としては、自分たちのことだと当事者意識を持ってくれればありがたいと思う。

【西山会長】

- ・深山荘には他の施設にはない大勢が加盟するファンクラブがある。個人的には、このことについて熟知している市長が現職のうちに、公の施設の再配置を行う際は深山荘の存続について配慮してもらいたい旨の意見書を出したいと考えていた。急ではあるが、補填の話もあったため意見した。

【山岸所長】

- ・以前にも施設経営管理室の職員から説明があったと思うが、過去3年間の収支平均との比較などにより補填額を算出しているため、単純に補填額イコール経営努力とは言えないと考える。

【西山会長】

- ・先走った話をしたが、他に意見等があれば願います。

【坂井委員】

- ・確認だが、令和3年度の予算が令和2年度より減額となっている事業が複数ある。これは、繰越される予算があるから減額となっても問題ないとの解釈でよいか。

【山岸所長】

- ・資料は当初予算を比較したものである。

【坂井委員】

- ・庁用事務費等関係費は、前年度と比較すると1,175千円の減額となっている。このように、前年度より減額となる事業が増えているが、予算が削られることを了承し

たのか。

【山岸所長】

- ・庁用事務費等関係費が減額となった理由は、今年度は軽トラックを1台購入したが、次年度は購入する必要が無いため、その分の予算が減ったものであり、予算を削られたといった解釈ではない。同じように、保育園の予算も次年度は大幅に減額している。理由は、今年度は大規模な工事を行う予算があったが、次年度は工事を行う必要が無いため、その分の予算が減ったものである。

【坂井委員】

- ・地域おこし協力隊が4月28日で退任となるが、後任の募集等はあるのか。

【山岸所長】

- ・地域からの要望等があれば計画を作成し、公募することになる。退任となる原田隊員は原地区、白峰地区の担当をしているが、両地区からは退任後も配置して欲しいとの要望は出されていない。

【西山会長】

- ・ほかに意見等を求めるが無かったため、本日の協議事項に移る。(1)令和3年度牧区地域協議会年間スケジュールについて、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・—資料3に基づき説明—

【西山会長】

- ・意見等を求めるが無かったため、(1)令和3年度牧区地域協議会年間スケジュールについての協議を終了とする。
- ・続いて、(2)自主的審議事項について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・—資料4～資料5に基づき説明—

【西山会長】

- ・事前にアンケート調査を実施し、参加者の意見を聞いたうえで意見交換会を開催するといった流れを予定している。
- ・今ほどの説明について、意見等があればお願いします。

【清水委員】

- ・今ほどの説明にあった段取りでよいと思う。事前に、バレーボール教室に通う子どものお母さん方にアンケートの設問について話をしたところ、「休みの日の子ども達の過ごし方」や、「お母さん方が意思を述べられる機会があると思いますか」などといった子育て支援に関することを聞いたかどうかとの意見があった。また、資料の設問例では住んでいる地域について回答するようになっているが、全員牧区内に住んでいるため、出身地を聞いた方がよいと思う。

【西山会長】

- ・剣道教室に区外から通っている子どもはいるのか。

【小黒委員】

- ・昔はいたが、今はいない。全員区内に住んでいる。バレーボール教室はどうか。

【清水委員】

- ・全員区内に住んでいる。

【井上委員】

- ・出身地を書くと個人が特定されてしまう場合があるため、書く、書かないは本人の自由とした方がよいと思う。

【西山会長】

- ・ほとんどが知っている人であるため、出身地を記載しても不都合は生じないと思う。

【小黒委員】

- ・区内の剣道、バレーボール、スキー教室に通う子どもは少ないため、アンケートを書く時点でみんな特定されてしまう。アンケートであるため、どうしても記入したくない場合は未記入でもよいが、区外から来た人たちの意見を聞くこともできるので設問としては残した方がよいと思う。

【佐藤委員】

- ・心配なのは、当該アンケートの対象をお母さんに限定していることである。各教室に通うお子さん全員にお母さんがいればよいが、父子家庭の場合も考えられる。保護者を対象にすればお母さんでもお父さんでも記入することができるのだが、今回は、対象をお母さんに限定して実施するということがよいのか。

【小黒委員】

- ・教室に通うお子さんの送迎はお母さんであり、相對して話すのもお母さんである。基

本的に、子育てに一生懸命なのはお母さんである。子育てに関する意見を聞く場合は、お母さんから意見を聞く方法が一番よい状況だと思う。

【佐藤委員】

- ・各教室には、父子家庭のお子さんがいないという事でよいか。ジェンダーや人権の観点から問題が生じないように実施する必要がある。両親が仕事で忙しく祖父母が送迎している家庭もある。お母さんがアンケートを書きたくない場合などは、代わりにお父さんが書いても支障が無いよう配慮した方がよいと思う。

【西山会長】

- ・お母さんが記載できない場合は、代わりにお父さんや祖父母に記載してもらおう形で実施するのかどうかである。

【清水委員】

- ・先ほど、段取りはよいと意見したが、今回のアンケートは出発点である。アンケートで様々な意見を聞き、これらの意見をベースに意見交換会を設けることが前提であるため、後で対応できると思う。

【西山会長】

- ・お母さん方を対象とすることを大前提に、アンケート調査を実施することでよいか。

【佐藤委員】

- ・不都合が無ければそれでよい。

【飯田副会長】

- ・先ほどの井上委員の意見にもあったが、答えたくない設問については記入しなくてもよい旨の注意書きが必要だと思う。

【清水委員】

- ・答えられる範囲で記入してもらえればよいので、注意書きは入れてもらいたい。

【山岸所長】

- ・設問の内容について、協議をお願いします。

【小黒委員】

- ・「意見があれば書いてください」との設問を設けても、そんなに多くの意見は出てこないと思う。

【山岸所長】

- ・先ほど、清水委員から子育て支援に関する意見があった。

【清水委員】

- ・お母さん方からは、全部で7つの設問例が出された。1つ目は「なぜ、スポーツ教室に入れたのですか。また、入ってよかったこと、悪かったことをお聞かせください」。
- 2つ目は「牧区内で子育てをされていて困ったことは何ですか。また、よかったことは何ですか」。
- 3つ目は「牧区内で子育て支援についての活動事業をご存じですか。それは何ですか」。
- 4つ目は「地域として子育て支援をして欲しいことは何ですか」。
- 5つ目は「放課後や休みの日の子ども達の過ごし方について教えてください。また、そのことで困っていることがありますか」。
- 6つ目は「お母さん方が意思を述べられる機会は牧区内にあると思いますか。また、そのような機会を設けるとしたら、どのような形で開いたらよいと思いますか」。
- 7つ目は「牧区内の子ども達が使ええる施設は充実していると思いますか。また、充実して欲しい施設がありますか」との内容である。

【西山会長】

- ・他に意見等を求めるが無いため、今ほど清水委員から出された意見を基に設問を作成し、アンケート調査を実施することに決定してよいか。

(一同、異議なし)

- ・設問内容については、改めて次回の定例会時に確認したいと思う。
- ・以上で、(2)自主的審議事項についての協議を終了する。
- ・続いて、その他連絡事項について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・「令和3年度地域活動支援事業事前説明会の開催結果」について説明。
- ・「令和3年度地域活動支援事業に係る資料の配布」について説明。
- ・「地域協議会に関する意識調査（アンケート）」について説明。
- ・「令和3年度第1回牧区地域協議会の開催」について説明。
- ・「ウイズじょうえつの配布」について説明。

【隠田次長】

- ・「国道405号線の除雪」について説明。

【井上委員】

- ・なぜそうなったのか理由は聞かなかったのか。

【隠田次長】

- ・原因までは聞いていない。

【井上委員】

- ・もしできることなら、理由は聞いてもらいたい。

【隠田次長】

- ・承知した。機会を見て確認したいと思う。

【山岸所長】

- ・「4月1日付け人事異動」について説明。

【西山会長】

- ・ほかに意見等を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。